





<p>教材名</p> <p>ステンシル型を使った塗りつぶし絵画</p>	<p>備考</p>
<p>教材の写真</p> <p>①ステンシルを画用紙に貼り付ける。 ②ステンシルの内側をクレヨンで着色する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・描画材は何でも良いが、授業ではバチック技法を行うのでクレヨンで行った。 ・色は複数使用するように促し、色の重なりを楽しめるようにする。 </div> <p>③塗り残した部分があれば、塗りつぶす。 ④ステンシルを剥がし、水彩絵の具で着色する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: center;">海をテーマにした生徒作品</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（バチック技法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具は水彩で、薄く溶く。 ・色は複数用意し、画面上で混色を楽しめるようにする。 ・紙がふやけにくい様、水張りしておくと良い。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が塗り残しを見つけられるよう支援することが望ましい。 </div>	
<p>対象 (学習グループ例)</p>	<p>表現活動の発達段階が錯画期にあたる生徒（点々や、弧状の往復線、ぐるぐる丸が描ける段階）</p>
<p>目的 ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手と目の動きの協応性を高める。 ・ステンシル技法、バチック技法に親しむ。 ・色の重なりや、絵の具の混色を楽しむ。
<p>使用方法 使用上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙とラミネーターがあればどんな形でも簡単に作ることができるが、クレヨン等の描画材で行うときはあまり細かい形は適さない。（スポンジやローラーで行う際は細かくてもOK） ・例では白い紙を使ってステンシル型を作製したが、黒などの色がついているほうが塗り残しを見つけやすい。 ・カッターを使える段階であれば、自分の描いた絵をステンシル型にすることもおもしろい。 ・描画が難しい生徒は、タンポなどを使用して行うこともできる。
<p>備考 (材料等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな形を描いた紙（写真のコピーでもOK） ・ラミネーター ・デザインカッター ・描画材